

[様式第3号]



資料提供年月日	令和4年11月22日
問い合わせ先	岡山芸術交流 実行委員会事務局
	電話 086-221-0033
担当者	副主査 <small>こだま</small> 児玉 副主査 <small>あんどう</small> 安東

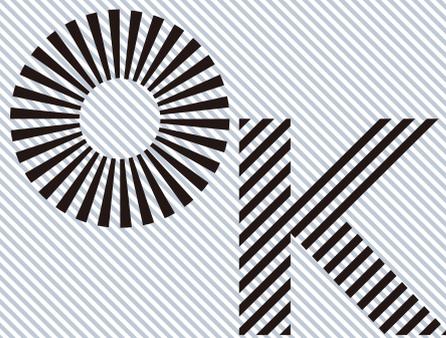
広 報 連 絡

- 件 名 岡山芸術交流2022パブリックプログラムクロージングイベント
ラウンドテーブル「世界が変わる、今、国際展と芸術祭の課題と可能性とは」を開催します
- 日 時 令和4年11月27日（日）17時30分～19時30分（開場17時）
※メディア受付開始時間16時30分～
- 場 所 蔭涼寺（北区中央町）
- 内 容 本年開催された都市型国際展のディレクターやアート関係者を招き、真の芸術の役割や本質とは何かについて語り合いながら、国際展や芸術祭の課題と可能性に関する考察を深めます。
- 登壇者 あさだ あきら 浅田 彰（批評家／京都芸術大学教授・ICA京都所長）
おざき てつや 小崎 哲哉（アートプロデューサー／ジャーナリスト）
かたおか まみ 片岡 真実（国際芸術祭「あいち2022」芸術監督）／森美術館館長
なす たろう 那須 太郎（実行委員会総合ディレクター）
司会進行：きのした ちえこ木ノ下 智恵子（実行委員会パブリックプログラムディレクター）
※敬称略
- 定 員 50名（事前申込優先）
- 申込方法 申込方法については別紙チラシをご参照ください。
- その他 取材にご来訪いただける場合には11月25日（金）12時までに事務局までご連絡ください。

岡山芸術交流 2022

PUBLIC PROGRAM

岡山の人・場・文化を開き、発信する。



Okayama Art Summit 2022 PUBLIC PROGRAM
Open the People, Places, and Culture — We Share from OKAYAMA

CLOSING EVENT

11.27 SUN

蔭涼寺 INRYOJI

5:30 P.M.—7:30 P.M. (OPEN 5:00 P.M.)

ラウンドテーブル

世界が変わる、今、
国際展と芸術祭の
課題と可能性とは

浅田 彰

批評家 / 京都芸術大学教授・
ICA 京都所長

小崎 哲哉

アートプロデューサー /
ジャーナリスト

片岡 真実

国際芸術祭「あいち2022」芸術監督 /
森美術館館長

那須 太郎

岡山芸術交流2022
総合ディレクター

司会進行

木ノ下 智恵子

岡山芸術交流2022
パブリックプログラムディレクター

岡山芸術交流2022パブリックプログラム クロージングイベント | ラウンドテーブル 世界が変わる、今、国際展と芸術祭の課題と可能性とは

この数年間、世界的パンデミック、ウクライナ情勢など社会は大きく変化し、これまでの日常や常識の変革が余儀なくされています。国際的な往来も制限される中で、国際展や芸術祭も大きな転換期にあります。社会情勢がもたらす価値観の変化はアートにどのような影響を与え、他方、アートは私たちに何をもたらすのか。数々の“芸術祭”とは一線を画す都市型国際展である岡山芸術交流のパブリックプログラムでは、同年に開催された国際芸術祭「あいち2022」芸術監督の片岡真実氏、現代思想と芸術表現の関係性を紐解く浅田彰氏、多岐にわたる芸術を射程にした編集者の小崎哲哉氏をゲストに迎え、国際展や芸術祭の課題と可能性に関する考察を深めます。

ABOUT 開催概要

日程 11月27日(日)
時間 17:30-19:30 開場 17:00
定員 50名(事前申込優先) 参加費無料

会場 蔭涼寺(いんりょうじ)

岡山市北区中央町10-28

アクセス JR岡山駅から路面電車「清輝橋」行き
「大雲寺前」駅下車徒歩4分

アクセスマップ
はこちら



※ライブ配信・
アーカイブ配信予定

GUEST ゲスト

浅田彰

批評家/京都芸術大学教授・
ICA京都所長



1957年神戸市生まれ。京都大学卒業。京都大学人文科学研究所、同経済研究所を経て京都芸術大学へ。1983年、『構造と力』(筑摩書房)を発表し、翌年の『逃走論』(筑摩書房)とともに、「ニューアカデミズム・ブーム」を生んだ。その後、現代思想のみならず、文学、映画、美術、建築、音楽、舞踏ほか多種多様な分野において批評活動を展開。著書に『ヘルメスの音楽』(筑摩書房)、『映画の世紀末』(新潮社)、『20世紀文化の臨界』(青土社)など。

小崎哲哉

アートプロデューサー/
ジャーナリスト



ICA京都のウェブマガジン「REALKYOTO FORUM」編集長。京都芸術大学大学院芸術研究科教授。2003年に和英バイリンガルの現代アート雑誌「ART IT」を創刊し、あいちトリエンナーレ2013ではパフォーミングアーツ統括プロデューサーを担当。編著書に『20世紀に人類が犯した愚行をまとめた写真集「百年の愚行」』『続・百年の愚行』、著書に『現代アートとは何か』『現代アートを殺さないために』などがある。2019年にフランス共和国芸術文化勲章シュヴァリエを受章。

片岡真実

国際芸術祭「あいち2022」
芸術監督/森美術館館長



ニッセイ基礎研究所都市開発部、東京オペラシティアートギャラリー・チーフキュレーターを経て、2003年より森美術館。2020年より現職。2007~2009年はヘイワード・ギャラリー(ロンドン)にて、インターナショナル・キュレーターを兼務。第9回光州ビエンナーレ(2012年)共同芸術監督、第21回シドニー・ビエンナーレ芸術監督(2018年)、国際芸術祭「あいち2022」芸術監督。2014年からCIMAM(国際美術館会議)理事を務め、2020~2022年に会長を務める。

那須太郎

岡山芸術交流2022
総合ディレクター



1966年岡山市生まれ。1990年早稲田大学卒業。天満屋美術部勤務を経て、1998年東京にて現代美術画廊TARONASUを開廊。現在に至る。2016年、アートコンサルティングを主な事業とするアート&パブリック株式会社を設立。「Imagineering OKAYAMA ART PROJECT」(2014)ではアートアドバイザーを、「岡山芸術交流2016」及び「岡山芸術交流2019」では総合ディレクターを務めるなど、国内外の美術館や公共機関との協働多数。

司会進行



木ノ下智恵子

岡山芸術交流2022
パブリックプログラムディレクター

神戸芸術工科大学大学院修了。大阪大学21世紀億徳堂准教授。専門は現代芸術、事業企画制作、文化政策等。神戸アートビレッジセンター美術プロデューサー、大阪大学コミュニケーションデザインセンター等を経て現職。展覧会やアートプロジェクトの他に、震災復興やまちづくり、医学関連の学会に関する文化事業、近代産業遺産を活用した企画を手がける。2016年、2019年の岡山芸術交流ではパブリックプログラムディレクターを務め、各種企画を実施。

APPLICATION 申込方法

右記の専用申込フォームよりお申込みください。
forms.gle/6PHZChDSZFjaEcXv7



プログラムの詳細は予告なく変更となる場合があります。最新情報は岡山芸術交流2022公式Webサイトでご確認ください。

公式サイト: <https://www.okayamaartsummit.jp/2022/>



会場 ① 旧内山下小学校 ② 岡山県天神山文化プラザ
③ 岡山市立オリエンタル美術館 ④ 岡山城 ほか

岡山芸術交流とは

岡山市で3年ごとに開催される国際現代美術展。岡山城・岡山後楽園エリアの様々な歴史文化施設を会場に、世界的な現代アーティストの作品が展示されます。徒歩で回遊できるコンパクトな会場配置が特色のひとつで、芸術鑑賞と街歩きをともに楽しむことができます。

会期 2022年9月30日(金)~11月27日(日) ※月曜休館 主催岡山芸術交流実行委員会(岡山市、公益財団法人石川文化振興財団、岡山県)

【お問合せ】岡山芸術交流実行委員会事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内2丁目1-1
TEL 086-221-0033 FAX 086-221-0031 MAIL pp@okayamaartsummit.jp



令和4年度文化資源活用推進事業



公益財団法人
吉野石膏
美術振興財団